

令和5年度の一般会計の歳入は66億3,957万円でした。その内訳は、国や県などに頼った依存財源が70.5%、町税などの自主財源が29.5%となっています。昨年度と比較すると、依存財源が0.9ポイント減、自主財源が0.9ポイント増となっており、全体に占める依存財源の割合が減少しています。この依存財源の減は、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業や、町営住宅二反田団地建設事業に係る国庫支出金、町債などが減少したことが主な要因です。

より詳しい情報は、桂川町ホームページをご覧ください。

令和5年度一般会計と特別会計の決算が9月定例議会で認定されました。今月号では、桂川町の令和5年度決算概要を公表します。

一般会計は、住民税非課税世帯等への給付などの各種物価高騰対策を実施しましたが、主にコロナワクチン接種事業費の減、生活応援券発行事業費の皆減、町営住宅二反田団地建設事業費の減等の影響により、歳入・歳出ともに前年度より減額となり、歳入は前年度に比べて3億3,457万円減の66億3,957万円、歳出は4億1,837万円減の62億7,058万円となりました。

自治体財政の健全化度合を示す「健全化判断比率」と「資金不足比率」は、早期健全化基準および経営健全化基準を大きく下回っており、財政の健全性を保っています。

令和5年度の町の財政状況をチェック!

決算

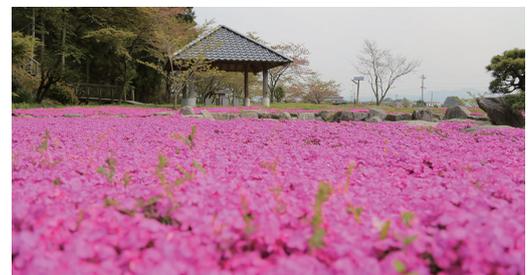
【問合せ先】企画財政課 財政係
☎65・1085



令和5年度 健全化判断比率 資金不足比率

健全化判断比率項目	桂川町	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	算定されず	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	算定されず	20.00%	30.00%
実質公債費比率	3.6%	25.00%	35.0%
将来負担比率	算定されず	350.0%	—
資金不足比率	算定されず	20.00%	—

※赤字額や資金不足額が生じていない項目は「算定されず」と表記



- ◇実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の比率
- ◇連結実質赤字比率…一般会計のほか特別会計などすべての会計の実質赤字の比率
- ◇実質公債費比率…公債費等の比重を示す比率
- ◇将来負担比率…地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率
- ◇資金不足比率…公営企業の資金不足の比率